



ダイナミック ロガー

- [前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [参照先 \(1 ページ\)](#)

前提条件

ダイナミック ロギングを使用する前に、スイッチに次のものが存在することを確認します。

- `libmtxlogmgr*.so` ライブラリが `/opt/mtx/lib/` にインストールされていること。
`libmtxlogmgr*.so` ライブラリは、`mtx_infra RPM` の一部です。
- `mtx.conf` ファイルが `/etc/` にあること。

```
[mtxlogger]
config=/opt/mtx/conf/mtxlogger.cfg
```
- `mtxlogger.cfg` ファイルが `/opt/mtx/conf/` にあること。

参照先

構成ファイルの構造は次のとおりです。

```
<config name="nxos-device-mgmt">
  <container name="mgmtConf">
    <container name="logging">
      <leaf name="enabled" type="boolean" default="false"></leaf>
      <leaf name="allActive" type="boolean" default="false"></leaf>
      <container name="format">
        <leaf name="content" type="string" default="$DATETIME$ $COMPONENTID$ $TYPE$:
$MSG$"></leaf>
        <container name="componentID">
          <leaf name="enabled" type="boolean" default="true"></leaf>
        </container>
        <container name="dateTime">
          <leaf name="enabled" type="boolean" default="true"></leaf>
          <leaf name="format" type="string" default="%y%m%d.%H%M%S"></leaf>
        </container>
      <container name="fcn">
        <leaf name="enabled" type="boolean" default="true"></leaf>
      </container>
    </container>
  </container>
</config>
```

```

        <leaf name="format" type="string"
default="`${CLASS}$:${FCNNAME}$($ARGS$)@${LINE}$"></leaf>
    </container>
</container>
    <container name="dest">
        <container name="console">
            <leaf name="enabled" type="boolean" default="false"></leaf>
        </container>
        <container name="file">
            <leaf name="enabled" type="boolean" default="false"></leaf>
            <leaf name="name" type="string" default="mtx-internal.log"></leaf>
            <leaf name="location" type="string" default="./mtxlogs"></leaf>
        <leaf name="mbytes-rollover" type="uint32" default="10"></leaf>
        <leaf name="hours-rollover" type="uint32" default="24"></leaf>
        <leaf name="startup-rollover" type="boolean" default="false"></leaf>
            <leaf name="max-rollover-files" type="uint32" default="10"></leaf>
        </container>
    </container>
    <list name="logitems" key="id">
        <listitem>
            <leaf name="id" type="string"></leaf>
        <leaf name="active" type="boolean" default="true"></leaf>
        </listitem>
    </list>
</container>
</container>
</config>

```

<list> タグは、**<componentID>** によるログ フィルタを定義します。

次の表では、コンテナとそのリーフの一部について説明します。

表 1: コンテナとリーフの説明

コンテナ	コンテナの説明	含まれるコンテナ	含まれるリーフと説明
logging	すべてのロギングデータ タイプが含まれます。	形式 dest ファイル (注) リストタグ「logitems」も含まれます	enabled: ロギングがオンかオフかを決定するブール値です。デフォルトはオフです。 allActive: ロギング用に定義されたすべてのロギング項目をアクティブにするブール値です。デフォルトはオフです。

コンテナ	コンテナの説明	含まれるコンテナ	含まれるリーフと説明
形式	ログメッセージの形式情報を格納します。	componentID dateTime type fcn	<p>content: ログメッセージに含まれるデータ型をリストする文字列です。内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> • \$DATETIMES\$: ログメッセージに日付または時刻を含めます。 • \$COMPONENTIDS\$: ログメッセージにコンポーネント名を含めます。 • \$TYPES\$: メッセージタイプ ("", INFO, WARNING, ERROR) を含めます。 • \$SRCFILE\$: ソースファイルの名前を含めます。 • \$SRCLINES\$: ソースファイルの行番号を含めます。 • \$FCNINFOS\$ ソースファイルからの class::関数名 を含めます。 • \$MSG\$: 実際のログメッセージテキストを含めます。

コンテナ	コンテナの説明	含まれるコンテナ	含まれるリーフと説明
componentID	ログが記録されたコンポーネントの名前です。	該当なし	enabled: ログメッセージにコンポーネントIDを含めるかどうかを決定するブール値です。デフォルトは「true」です。値を「false」にすると、ログメッセージに "" 文字列を返します。
dateTime	ログメッセージの日付または時刻です	該当なし	enabled: ログメッセージに日付または時刻の情報を含めるかどうかのブール値です。デフォルトはイネーブルです。 format: ログメッセージに含める値を示す文字列です。フォーマットは %y%m%d.%H%M%S です。
dest	接続先ロガーの構成設定を保持します。	console: 接続先コンソールです。許可されるのは1つだけです。 file: 接続先ファイルです。複数ファイルが許可されます。	該当なし
コンソール	接続先コンソール	該当なし	enabled: コンソールのロギングが有効かどうかを決定するブール値です。デフォルトは「false」です。

コンテナ	コンテナの説明	含まれるコンテナ	含まれるリーフと説明
ファイル	接続先ファイルの設定を決定します。	該当なし	

コンテナ	コンテナの説明	含まれるコンテナ	含まれるリーフと説明
			<p>enabled: 接続先が有効にされているかどうかを決定するブール値です。デフォルトは「false」です。</p> <p>name: 接続先ログファイルを示す文字列です。デフォルトは「mtx-internal.log」です。</p> <p>location: 接続先ファイルパスを示す文字列です。デフォルトは「./mtxlogs」です。</p> <p>mbytes-rollover: システムが最も古いデータを上書きするまでのログファイルの長さを決定する uint32 値です。デフォルトは10Mバイトです。</p> <p>hours-rollover: 時間単位でのログファイルの長さを決定する uint32 値です。デフォルトは24時間です。</p> <p>startup-rollover: エージェントの起動時または再起動時にログファイルをロールオーバーするかどうかを決定するブール値です。デフォルト値は「false」です。</p> <p>max-rollover-files: ロールオーバーファイルの最大数を決定する uint32 値です。 max-rollover-files の値を超えると、最も古いファイルが削除されま</p>


```
    <leaf name="id" type="string">Model-*</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>true</leaf>
  </listitem>
  <listitem>
    <leaf name="id" type="string">Model-Cisco-NX-OS-device</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>false</leaf>
  </listitem>
  <listitem>
    <leaf name="id" type="string">Model-openconfig-bgp</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>false</leaf>
  </listitem>
  <listitem>
    <leaf name="id" type="string">INST-MTX-API</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>false</leaf>
  </listitem>
  <listitem>
    <leaf name="id" type="string">INST-ADAPTER-NC</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>false</leaf>
  </listitem>
  <listitem>
    <leaf name="id" type="string">INST-ADAPTER-RC</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>false</leaf>
  </listitem>
  <listitem>
    <leaf name="id" type="string">INST-ADAPTER-GRPC</leaf>
  <leaf name="active" type="boolean" default="true">>false</leaf>
  </listitem>
</list>
</container>
</container>
</config>
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。